

1年間、皆様の温かいご支援・ご協力に深く感謝いたします！

和 チーム託北

熊本市立託麻北小学校

令和5年3月7日

No. 56【最終号】

文責：津田

大きな困難を乗り越え、様々な面で大きな成長があった1年間でした！！

★後2週間程で3学期が終わろうとしています。振り返ってみますと、今年度も新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年間でした。従来株より変異したオミクロン株に置き換わり、第6・7・8波の3回の大流行に襲われました。中止となった授業参観・学級懇談会、継続されたマスク着用の日常生活、楽しくおしゃべりができない黙食、その他多くの制限がかかった中での学校生活を余儀なくされました。このような大きな困難を伴う、激動の1年間を子どもたちは真っすぐに受け止め、粘り強くそして、しなやかに生き抜いてきました。コロナの波が襲いかかり、世の中の閉塞感が日々増していく中でも、子どもたちは元気に登校し、一生懸命に授業に集中し、思いっきり運動場で遊びまわりました。そのたくましい姿に、私たち教職員は、どれだけ勇気と元気をもらったことでしょうか。やはり世の中の元気印は「子どもたち」と実感しました。そして、教職員であることの幸せをしみじみと感じました。私たち大人に、限りないエネルギーを無償で分け与えてくれた子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです！また、蔓延の中でも、4年ぶりに対面の形で実施できた「北っ子フェスタ」や「給食試食会」、充実した新しい形での「運動会」、最後に実施できた授業参加・学級懇談会、思い出に残る社会科見学旅行や修学旅行等、多くの実りを得ることができた1年間でもありました。年度末になり、感染者も大きく減少し、来年度4月1日からは、マスク着用も自由になり、元の学校生活が戻ってきます。この3年間は、とても長く、苦しいものでしたが、ようやく明るい光が見えてきました。そして、この1年の間に、子どもたちは驚くほど成長した姿を見せてくれました。先日、本号にてご報告しました学力の素晴らしい伸びだけでなく、いろいろな場面において、成長の跡を感じることができました。掃除時間、黙々と頑張っている全校生の姿。校内造形展を始め、各教室に展示してある各作品は、本人のひと工夫が凝らされた見事なものばかり。泣いている他学年生がいれば、友だちでなくても、そっと寄り添い慰める姿。子どもが苦手なメニューや食材があったときも、給食の残菜が殆どでない子どもたちの努力。休み時間、自分や友達が植えたパンジーやサクラソウを優しくお世話する姿。1年生に囲まれ、優しい笑顔で遊んであげる高学年の姿。元気な挨拶も他校には絶対負けない本校の自慢の一つです。校長として本当にうれしい限りです。来年度の成長も大いに楽しみです！1年間、温かいご支援・ご協力誠にありがとうございました！

